

## 小 山 剛 氏 提 出 資 料

## 施 設 機 能 の 地 域 分 散 「サ ポ ー ト セ ン タ ー 構 想」 に つ い て

## 1. 事 前 に 必 要 な こ と

- (1) 地 域 の イ ン フ ラ 整 備 (地 域 を 育 て る こ と と、子 供 を 育 て る こ と)、そ し て 直 接 参 加 と 自 己 責 任 が 地 域 福 祉 の 原 則 で あ る こ と を 理 解 し て も ら う 啓 発 活 動 を 実 施 す る こ と。
- (2) 言 葉 だ け で は な く 使 え る サ ー ビ ス を 構 築 す る こ と。

## 2. 目 指 し て い る の は

- (1) 高 齢 者 と 家 族 の ど ち ら も 犠 牲 に し な い
- (2) 施 設 で も 自 宅 で も な い、多 様 な サ ー ビ ス を 利 用 し た 地 域 社 会 で の 暮 ら し
- (3) 普 通 の 生 活 を 支 え る
- (4) 負 担 で き る 費 用 で 支 え る

## 3. サ ポ ー ト セ ン タ ー の 形 態

- (1) ネ ッ ト ワ ー ク 型 サ ポ ー ト セ ン タ ー (別 紙 P4 下 図 参 照)  
す で に 在 宅 サ ー ビ ス を 提 供 し て い る 地 域 に、そ こ に 不 足 し て い る サ ー ビ ス を 設 置 し、一 つ 一 つ の サ ー ビ ス が 点 在 し な が ら 一 つ の 地 域 内 に お い て 全 て の サ ー ビ ス を 提 供 す る シ ス テ ム で、1 ~ 2 中 学 校 区 程 度 を カ バ ー す る も の。
- (2) コ ン ビ ニ 型 サ ポ ー ト セ ン タ ー (別 紙 P6 下 図 参 照)  
サ ー ビ ス が 提 供 さ れ て い な い 地 域 を 対 象 に、バ リ ア フ リ ー 住 宅 と フ ル タ イ ム ・ フ ル サ ー ビ ス を セ ッ ト に し て 提 供 す る シ ス テ ム で、小 学 校 区 程 度 を カ バ ー す る も の。

## 4. 課 題

施 設 と 在 宅 の サ ー ビ ス 利 用 料 金 の 格 差 を な く す

現 在 は

要 介 護 認 定 が 同 じ で も、

在 宅 サ ー ビ ス は 出 来 高 払 い で 高 く、施 設 サ ー ビ ス は 定 額 制 で 安 い

ま た

ホ テ ル コ ス ト の 導 入 は、定 額 で 提 供 し て い た ケ ア コ ス ト を 分 離 し た と い う こ と

だ と す れ ば

在 宅 も 契 約 す れ ば 定 額 で ケ ア を 受 け る こ と は 可 能 (別 紙 P9 下 図 参 照)

高 齢 者 総 合 ケ ア セ ン タ ー こ ぶ し 園

園 長 小 山 剛

地域分散型ケアシステム  
(サポートセンター構想)  
施設の解体と機能の地域分散方法

高齢者総合ケアセンターこぶし園  
園長 小山 剛

## 現行制度の問題点

救済制度  
家族介護の補填レベル  
生活とは程遠い環境  
マーケティング不要の配給制度  
硬直化した措置・補助体質

従前のシステム及び意識では  
今の暮らしを続けたいニーズに応えられない

社会福祉法人のMissionはCS  
顧客の満足(Customer Satisfaction)  
地域社会の満足(Community Satisfaction)  
先駆的事業への投資  
非効率事業の実施

①意識のインフラ整備  
共通認識の形成  
子供を育てる  
地域を育てる





小学校の文化祭



親子車イスラリー



親子オリエンテーリング大会



介護教室(毎月)



相談室(毎日曜日)

町内シンポジウム

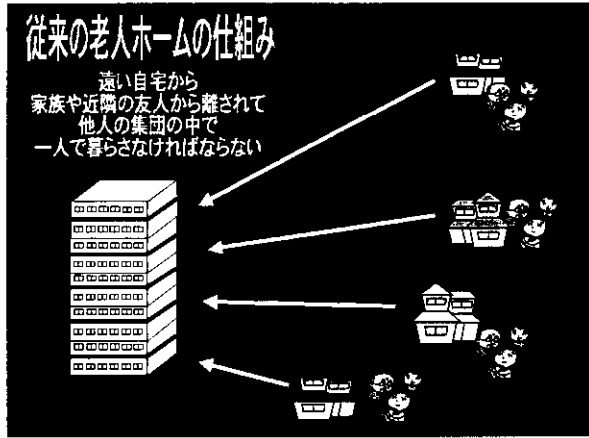
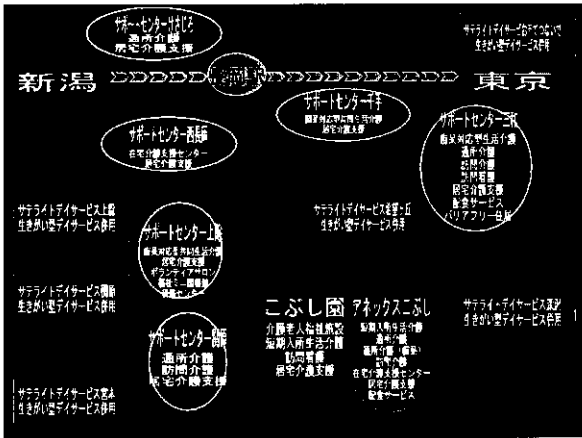
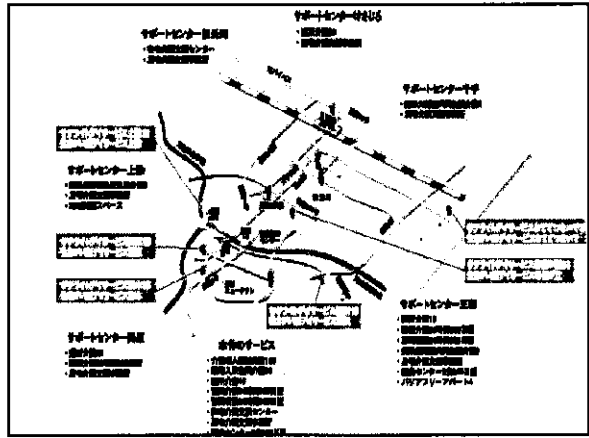
定期講演会(毎月)

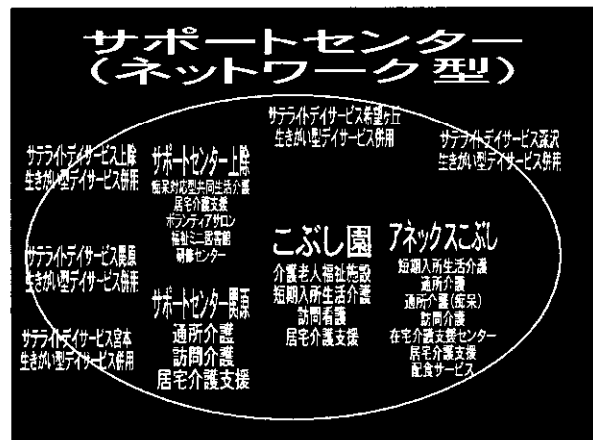
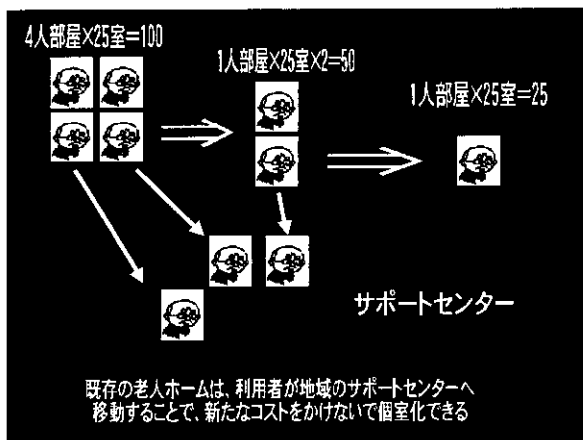
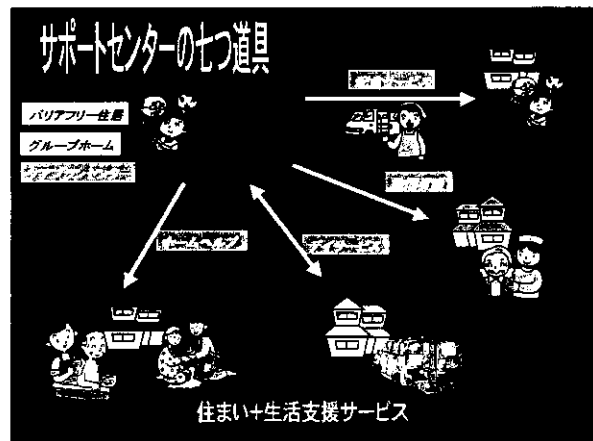
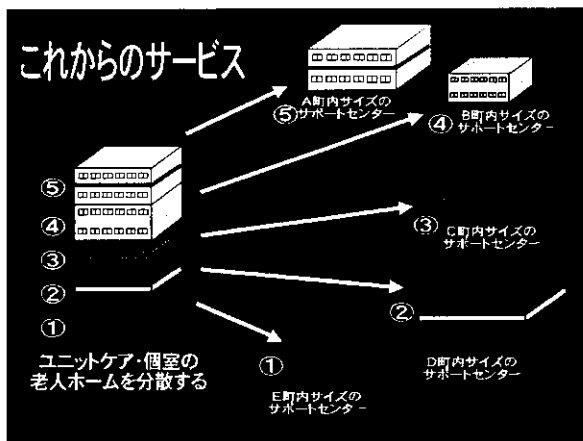
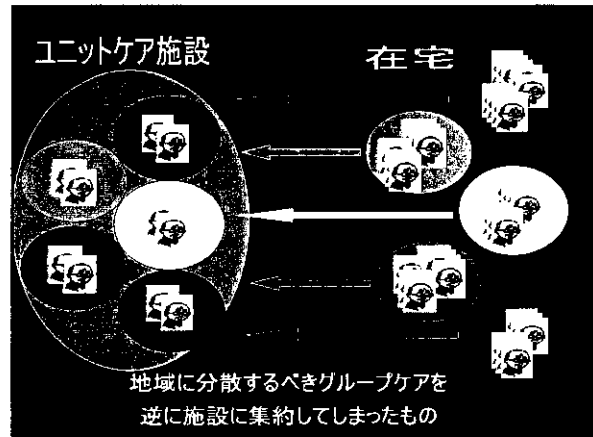
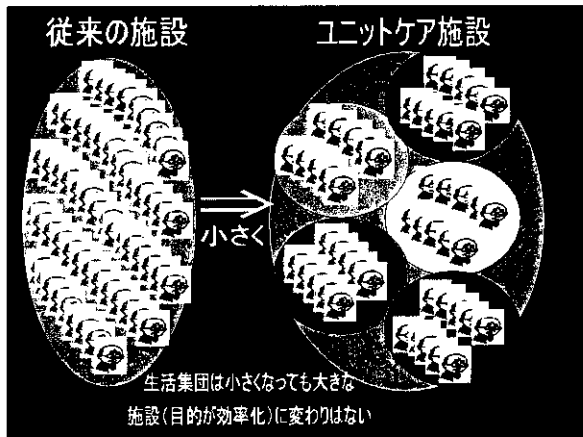


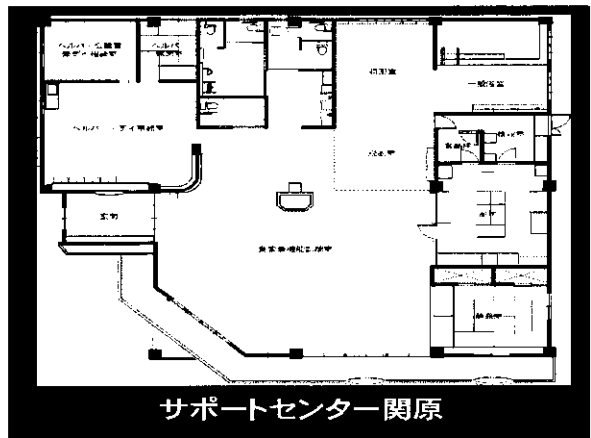
NPO法人長岡医療と福祉の里ボランティア連合会

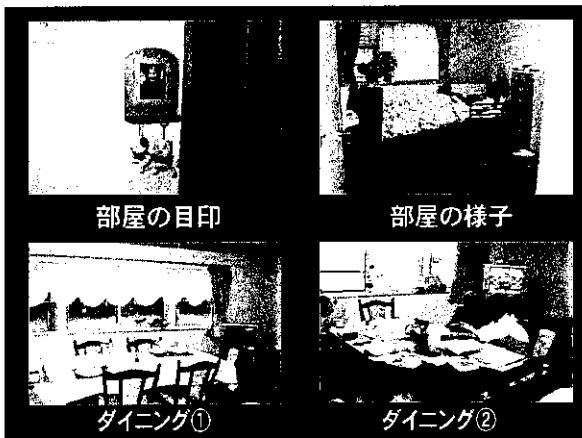
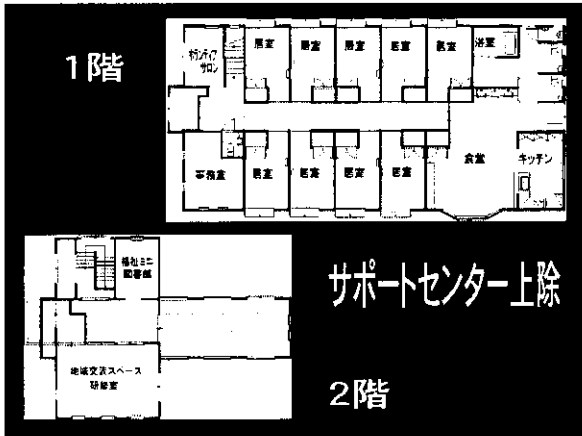


②フルタイムの包括的サービス  
24時間連続するケア  
バリアフリーの住環境  
こぶし園では44事業



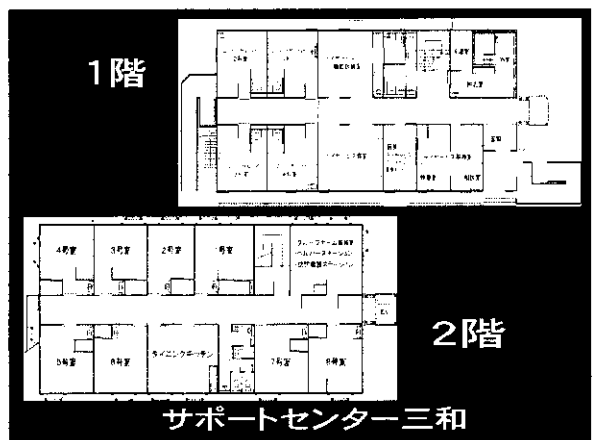


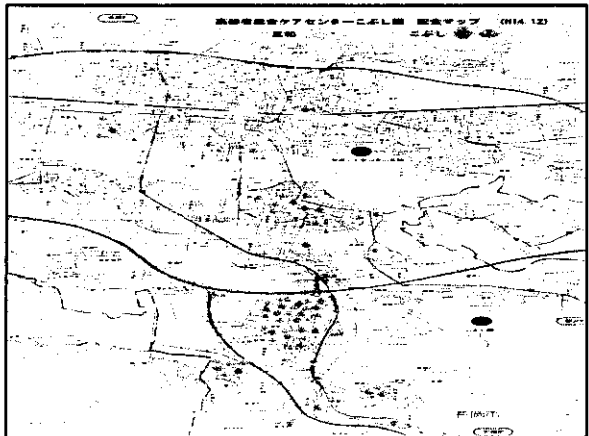
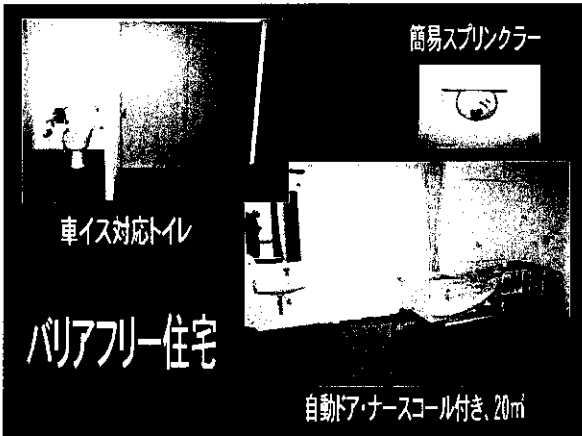
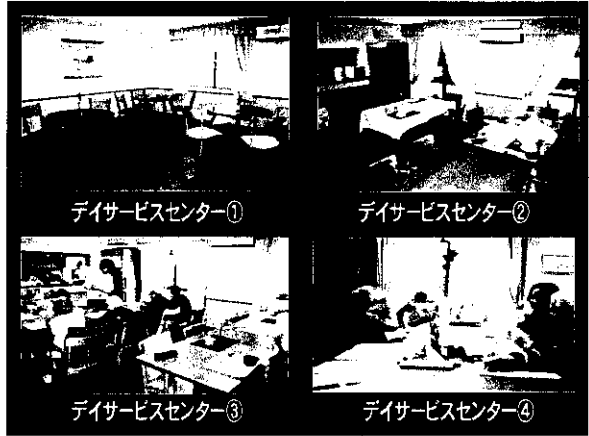




# サポートセンター (コンビニ型)

痴呆対応型生活介護  
 通所介護  
 訪問介護  
 訪問看護  
 居宅介護支援  
 配食サービス  
 バリアフリー住居









まとめ

施設は  
作りたい人がいる  
入りたい人がいる  
でも  
入りたい人はいない  
そしてコストが高い

パイが変わらない中で、コストの高い長期対応の施設建築を続けると医療費及び介護費を削減することになり、サービスの質が低下する

信じられない設備投資

モデルハウス仕様

老人ホームの1ベッド

1000~3000万円

土地取得費 208.26㎡(102.85坪)  
建築費 70.94㎡(25.72坪) 建築費 75.17㎡(22.78坪)  
設備費 152.1㎡(46.00坪) 工事費 1164.90㎡(49.98坪)

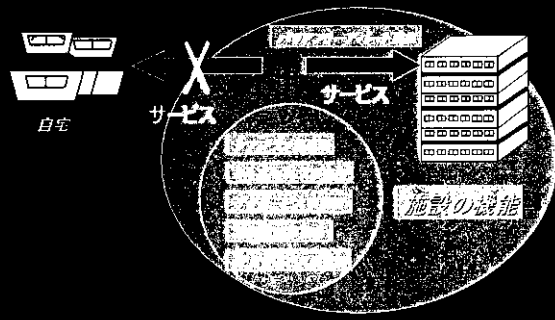
老人ホームはハードではなく機能である  
ハードは緊急避難場所ではなく住まい  
住まいは個別で地域性が重要

老人ホームの機能はフルタイムケアである  
これで築いてきた生活を支える  
これが地域分散型サービス

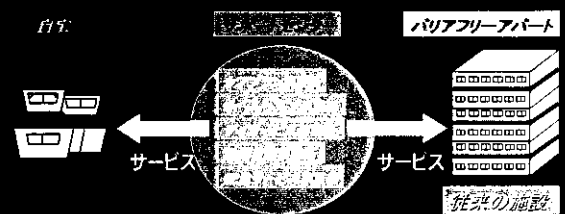
24時間365日の連続ケアを  
提供してきた老人ホームが  
サポートセンターを展開し  
施設機能の分散化を図り  
地域社会での生活を  
支えなければならない

新たな提案①  
施設をバリアフリー住宅とケアサービスに分けたのであれば  
既存の住宅にも施設と同様のケアサービスが必要  
また施設と同様の定額サービスが可能

従来の施設は、施設内だけが対象



施設機能の分散=サポートセンター

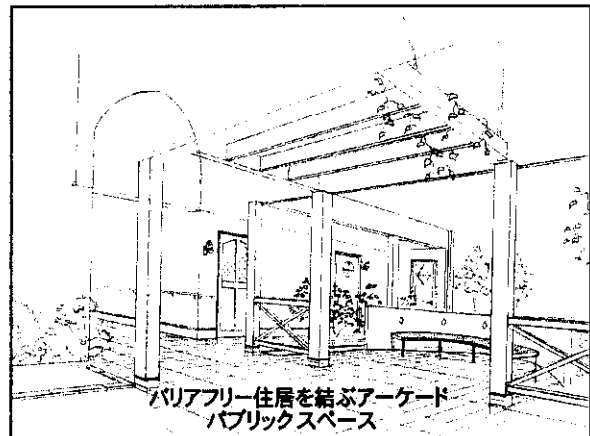
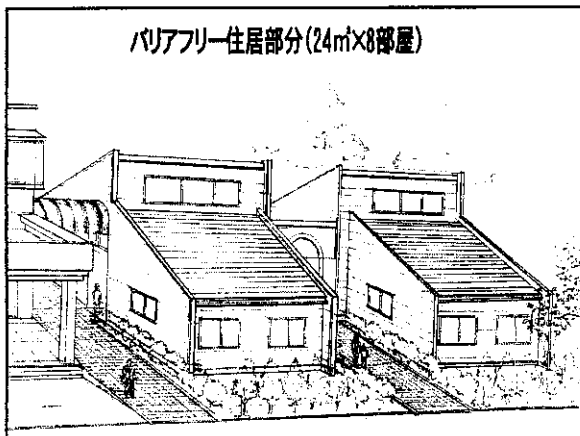
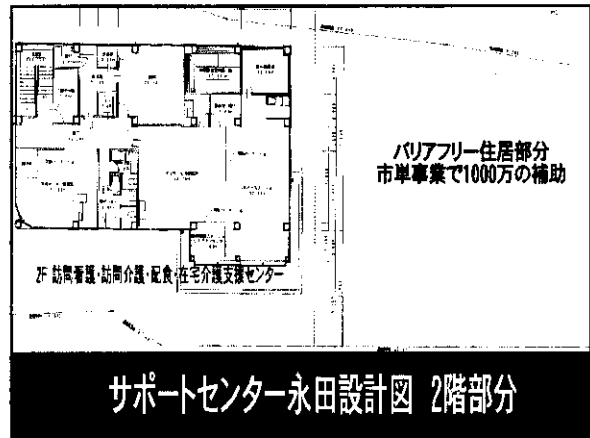
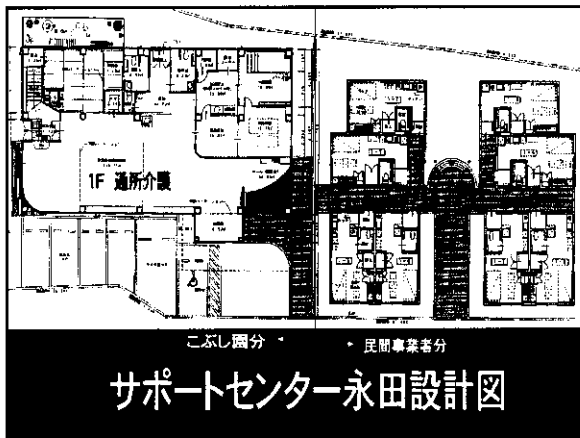


新たな提案②  
 民間のバリアフリー住宅と  
 サポートセンターの組み合わせ

サポートセンター永田

テイサービスセンター永田(365日 26名)  
 配食サービスステーション永田(3食:365日)  
 24時間ケアサービスステーション永田(24時間:365日)  
 訪問看護ステーション永田(24時間:365日)  
 ユニバーサルハイツ永田(家事援助・食事付き 8室)  
 在宅介護支援センター永田  
 ケアプランセンター永田

2003.12月オープン予定

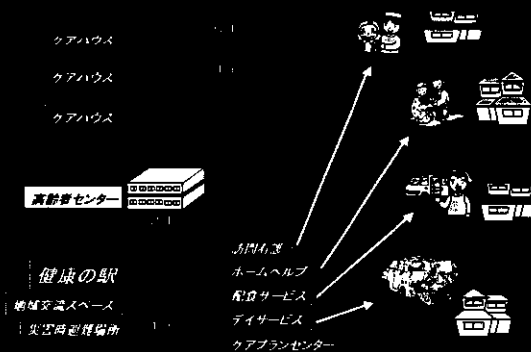


## PFI事業 健康の駅なの

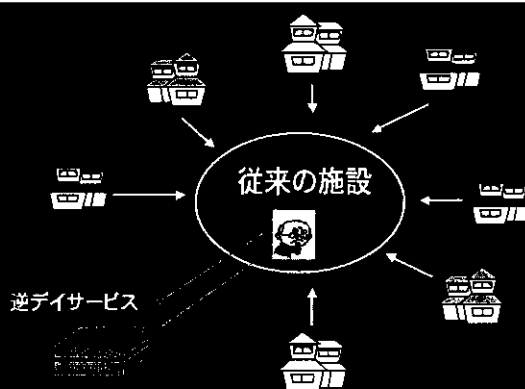
高齢者センター  
 ケアハウス  
 通所介護  
 訪問看護  
 在宅介護支援センター  
 居宅介護支援事業所  
 配食サービス  
 健康の駅  
 診療所

2005.1月オープン予定

## ケアハウスを住居としたサポートセンター



施設機能を分散することは、  
 一つの建物を施設としていた時代から  
 一つの地域社会を施設として機能させることです



## 地域社会が施設

